

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大分市でも感染者や医療従事者及びその家族等への差別や偏見、嫌がらせなどが起きています。たたかう相手は人ではなく、ウイルスです。困難な状況だからこそ、不確かな情報に惑わされるのではなく、相手の気持ちを考えて、“心の距離”が広がらないよう行動することが大切です。誰がいつどこで感染するか分からない状況の中、助けあい、支えあいの心を持ち続け、この状況をみんなで乗り越えていきましょう。

未知のウイルスによる感染症<sup>しやう</sup>の拡大により、多くの人<sup>た</sup>が不安を抱えています。見えないウイルスへの不安<sup>きやうふ</sup>や恐怖<sup>きやうふ</sup>が人との関わり<sup>せ</sup>を避ける行為<sup>こうい</sup>へとつながるとともに、見えるもの<sup>いりやう</sup>(感染者や医療従事者及びその家族等)への差別<sup>へんげん</sup>や偏見<sup>い</sup>、嫌がらせ<sup>ひぼう</sup>、誹謗中傷<sup>ひぼう</sup>という形になって現れています。不安や恐怖の根底には「知らない」「わからない」ということがあるのです。

この点は、部落差別をはじめあらゆる差別と同じではないでしょうか。知的理解（差別とは何か等）や、人権感覚（思いやりの大切さ等）を身に付けることで、差別は解消できるのです。

### 大分市人権イメージキャラクター キズナーズ



キッピー

ズータン

ナビー

読み終わってどう感じましたか。

この資料では部落差別をはじめあらゆる差別から起こる問題を取り上げています。しかし、ここにあるものがすべてではありません。「本人に責任のないこと」や「努力で変えられないこと」により、辛い思いをしている人はいないか、わたしたちのまわりを見つめ直してみませんか。「あれっ?」と感じた時には、いつでもこの資料を見直してください。

大分市教育委員会 教育部 人権・同和教育課

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

発行：大分市教育委員会 発行年月日：2021(令和3)年3月31日